

# With

春  
2010  
vol.52

ウィズセンター情報誌

- 「男女共同参画社会に関する県民意識調査」結果から
- ストップDV講座  
小倉 千加子さん (心理学者)  
中島 幸子さん (NPO法人 レジリエンス代表)
- Topic  
北京会議から15年 「ジェンダーの平等と開発、そして平和」
- 平成22年度 キャリアアップ講座



みずかわ かつこ  
水川 勝子さん (倉敷市)



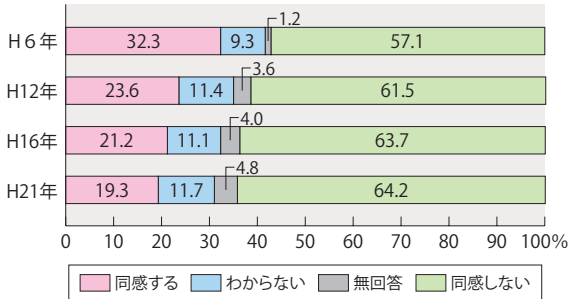
すぎやま ともえ  
杉山 鞆絵さん (倉敷市)

# 減少する「男は仕事、女は家庭」という意識、しかし…

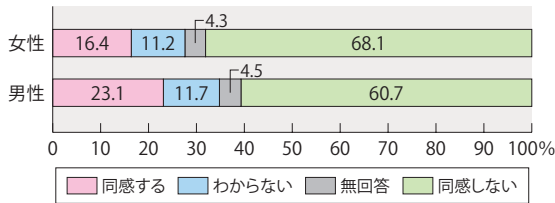
～「男女共同参画社会に関する県民意識調査」結果から～

岡山県では、男女共同参画社会の実現に向けて、今後の施策の参考とするため「男女共同参画社会に関する県民意識調査」を平成21年10月～11月に実施し、20歳以上1,490名(女性787人、男性580人、無回答123人)の方から回答をいただきました。その一部をご紹介します。

## Q 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか？

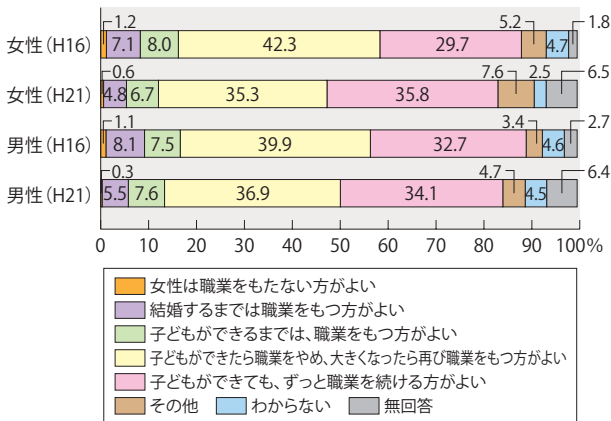


「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同意しない」人は6割以上を占め、調査年ごとに増加し、「同意する」人は、平成6年の約2/3まで減少しています。



男女別では、女性の方が男性に比べて「同意しない」の割合が高くなっています。

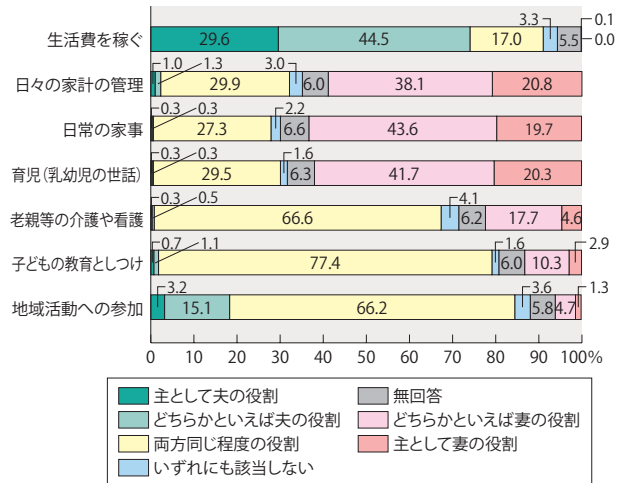
## Q 女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか？



女性では、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」がほぼ同割合ですが、男性では「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」をわずかながら上回っています。

平成16年と比較すると、男女ともに「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が減少する一方で、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が増加しています。

## Q 家庭での仕事の役割について、あなたはどのようにお考えですか？

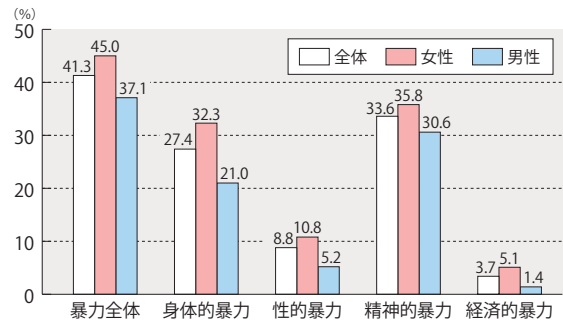


「生活費を稼ぐ」では、4人のうち3人が「夫の役割」(「主として夫の役割」と「どちらかといえば夫の役割」を合わせた割合)となっています。

一方、「日常の家事」、「育児(乳幼児の世話)」では、6割以上が「妻の役割」(「主として妻の役割」と「どちらかといえば妻の役割」を合わせた割合)となっています。

「子どもの教育としつけ」では、8割近くが「両方同じ程度の役割」と回答、「老親等の介護や看護」、「地域活動への参加」も、「両方同じ程度の役割」と回答した人が6割を超えています。

## Q 配偶者や恋人関係にあった者から、次のような行為を受けたことがありますか？



配偶者や恋人がいる(いた)人のうち、男女合わせて41.3%の人が、何らかの暴力を受けたことがあり、女性の3人に1人は何らかの身体的暴力を受けたことがあると回答しています。

※本調査の詳細な結果は、岡山県ホームページの男女共同参画青少年課のページに掲載しております。

<http://www.pref.okayama.jp/>

組織で探す>県民生活部>男女共同参画青少年課

心理学者の小倉千加子さんに、テレビドラマ「ラストフレンズ」を取り入れながら、DVの心理や背景についてお話をいただきました。



講演

## DVの心理

### ～ドラマ『ラストフレンズ』から考える～

講師

おぐら ちかこ  
小倉 千加子さん (心理学者)

#### DVを依存症として考える

DVは人権侵害で犯罪ですが、ひとつの依存症であると、認識を持つ必要があります。これは薬物依存と同じように完治することは難しい。ちなみに依存症の中で一番に人口の多い依存は何依存だと思われますか？アルコール依存よりもっと多いのはワーカホリック、仕事中毒です。これは女性より男性が圧倒的に多い。日本人男性は体が悲鳴をあげているにも関わらず時間が来ると出勤し、そうしなければならない、そうしないと家族を養うことが出来ない、生きていくことが出来ない、そう思わされて働いているわけです。

女性は男性と比べると過労死する人の割合が低いですね。女性も沢山働いていますよ。ものすごく。しかし男性ほど過労死する率が高くない。それは女性は過労死をする前に職場を去っていくからです。

DVというものも含めて、ワーカホリックになるのは圧倒的に男性が多いのです。私はこの2つはリンクしていると思います。ワーカホリックとDVは、つまり男性がこの社会に男性として生まれてきて、一体何でこんなに人と競争しなければならないんだろうとか、何であくせくとお金の為に働かなくちゃならないんだろう……というような問いを立てる為に佇むとそこで負けるんです。

言葉を換えて言うと、こういう事をゆっくり考えられる女に生まれ変わりたいという心理が男性には心のどこかにあると思いますね。しかし残念ながら男に生まれてしまった。たった独りぼっちでこの厳しい社会を生き延びていかなきゃならない。それはとても怖い事。そういう心理がどこかにあると頭に入れて下さい。

#### DVの心理

DV関係の本を、沢山読みました。ほとんど全てが法律関係の本。あるいは被害者をいかに保護するか、ネットワークとか相談、支援の方法を紹介した本であって、加害者の心理というものを書いた本はほとんど無いという状態でした。私は本来心理学が専門で、むしろそっちの方に焦点を絞った方が、有効かなと思いましたので、そういう話をさせていただ

きたい。その為にはDVの心理は、DV特有のものではないということを行うために依存症という形で、世の中に蔓延しているお話をした訳です。

人は何かに依存せずに生きていくことができるでしょうか？ 本当に何も依存せずに生きられるだろうか？との問いが出てきます。私は多分、みんな気が付かないですが、どこかで非常にディープな信仰みたいなものを持っているんだけど、それが信仰であるとか、依存であるとか、気が付かないだけなんじゃないかと思うのです。

DVは薬物依存とは違って人間関係の問題ですから相手も配偶者の場合でもありますし、恋人でもある。或いは子供でもある。或いは親であると、いろいろありますけれども基本的に夫婦間の問題としてお話しします。心理学者の中で、一番、ためになる見解を出したのは、コフトだと思っています。

コフトの心理学は、自己心理学というふうには呼ばれています。コフトはこう言ったんです。自己にとって一番すいのは、2人が恋愛して2者一体感を持つこと、融合する。心が繋がっている状態になることです。でも2者が近くなってきて最後はどうなるかということ、楕円みたいな、ものの境界線が解けてしまうのです。つまり対象は自分の体の一部になるのです。自己の一部なんです。手足みたいなものですよ。頭が思っていたら手足はそうのように動く。こういう本来は他者であるところの対象がこちら側の自己に組み込まれて融合したものを、自己対象と言います。自己であると同時に対象でもある。こういう状態を人間、とりわけ男性は求めている。

人間というのは生まれたときに未熟な状態で生まれてくるじゃないですか。そして、毎日生きているうちに、いろんな目にあうわけですよ。幼児のときにはいろんな目にあって現実に未熟であるにもかかわらず、幼児というのは、自分は完全であると思っています。これ幼児の心理の特性ですよ。しかし、経験によって、あるいは環境によって完全無欠な自己は傷つけられていきますよね。やっぱり思うようにはならないし、上には上がいるし。やってみたら思っていたほどでしかなかったし、かっこ悪いし。そうなりますと傷つけられる

というのは、もちろん何を傷つけるかということ、幼児は自分が完全な意識を持っている。誇大自己と言います。誇大妄想。これが傷つけられるわけです。おまえは凡庸なただの人間だと。

そうなりますと当然傷つけられた誇大自己は絶えず環境から承認と称賛を求めようとする。えらかったねえ、すごいねえ。そういう言葉を子供はかけられるとすごく喜びます。逆にそれを傷つけられると、とても悲しいです。悲しいことを認めるわけにはいかないんです。完全だから。そうなりますと、自分が挫折しているこの反応は悲しみではなく激しい怒りになります。

恋愛をするときに、2つの体が融合する瞬間ってあるじゃないですか。2人が1つになる。つまり自分の境界線からいったん外に出されたという気持がある。恋愛は時間の経過とともに終わるじゃないですか。そしてひとりぼっちの自己に帰って行く。都合がいいのは恋愛が終わっても相手が自己対象として自己の中に取り込まれていることです。そうすると何でも自分の思い通りに環境を整えてくれて、自分が求めた通りの称賛と承認を自分に与える。

交換システムですよ、結婚は。ただ、自己対象は自己の側から見ると、自分の一部なんですけれど、実は決して本当のその人の一部ではなくて、その人の側には、その人の自己があるわけじゃないですか。そうしますと、自己対象の特徴というのは他者の他性を消すことなんです。これを最も従順にやってくれるとすごく有難いことなんです、これは誰にでもできるわけじゃありません。

問題はこの自己対象が自己対象として機能しなくなったとき。そのときに誇大自己は傷つきますし、あるいは決して誰とも2者一体感を得ることができないんだと感じた時、激しい怒りが出て、それは会話ですむようなものじゃなく、幼児的な怒りですからもう爆発するわけですよ。これがDVだと私は思う。



## DVの背景

DVの問題ですけども、これは確かに構造的なものが背後にあることは事実です。なぜ加害者が加害者になるか？

その背景みたいなものをさかのぼっていくと、加害者もまた被害者だったというケースもある。薬物依存もそうなんで

すけどね。薬物依存になる人の過半数に、子供時代の虐待の被害者であるという事実があって、結局家庭の機能不全というのがあって、親もまたその親に虐待されていた。虐待の連鎖。虐待されていても自分が親になった時にしない人もいる、その連鎖を断つ人もいる、何割かは。

構造的な問題と生育歴。これが強く結びついてしまうと、ある種の生育歴の中に育つと社会の構造に対する距離を持ってない。その価値観をダイレクトに反映する家庭を持ってしまふことが現実にあるわけです。言い換えますと、自分が社会の中で自己の尊厳を保てない場合はとりあえず自分に尊厳を与えてくれるシステムを保守する側に人間は回ります。自分を抑圧しているシステムを一番熱狂的に支持するのが一番抑圧されているという皮肉な事実があります。

加害者像でよく言われるのが、外面がいい人。紳士的にふるまう人が多くて、意外な人が多い。

この外面がいいっていうのは言ってみれば社会的に適応しているわけです。そういう意味で、適応するために内面でどれだけの悲しみや怒りを抑圧しているか。それを一番身近な家庭内の奥さんであるとか恋人であるとか分かっていてと思うのに分からない。奥さんはもちろん女性なわけですから、男性からすると、母親とダブるわけです。恋愛関係というと母子関係の再現、というところがあります。そこで新たな怒り、本来母に向けられるべき怒りがパートナーに向かうということもよくあることで、外面がいい、社会的に適応している人、成功者であるということは、母の期待を内面化してきたわけですから、責任感の強い人なんです。母に対して、いい子であるということで頑張ってきたわけです。いい子というのは男女問わずそうですが、怒りの固まりを心の中に持っている。それを常時、発散する方法が分からないわけですから、ずっと我慢して、何かの拍子に引き金が外れる。配偶者を殴る、蹴る。それは言葉で語るができない、ここにはコミュニケーションが不在であるという意識から暴力となる。暴力をふるわず、言葉で言えばいいじゃないか、それが出来ない。これが依存症。これは小さい子供、お母さんに向かって言いたいことを言えばということと同じです。身体的なものに絡め取られて大きくなってきた母子関係というものが非常に大きいですし、またDVの加害者の人は多く、子供の時に父が母に暴力をふるっているのを目撃している。つまりそういうこともありなんだ、と。

2者関係の間で、コミュニケーションを成立させることは不可能であるという風になった時、人は色々な方法をとるわけです。例えば本当に内側に引きこもってしまい、一切何も言わずに無言、無視をする。あるいは暴力で攻撃という形が出る、あるいは自分自身を責めるとかがあります。DVは、その中の「引きこもらないで他者を攻撃するタイプ」ということになります。

## 北京会議から15年「ジェンダーの平等と開発、そして平和」



今年は第4回世界女性会議（北京会議）から15周年にあたり、「北京+15」の様々な会合が国内外で開催される。ニューヨークの国連本部では、第54回女性の地位委員会（3月1日～12日）が開かれ、北京行動綱領、2000年成果文書、ミレニアム開発目標及び緊急課題など、ジェンダー平等と女性のエンパワメントの促進についての進捗状況と課題解決に向けた討議がなされた。「北京+15」グローバルNGOフォーラム（2月27日・28日）も開催された。

昨年は今年の会議に先立ち、世界5地域で政府間会議が開催され、アジア・太平洋地域ではバンコク（11月16日～18日）で40ヶ国と17国際機関等が出席した。フィリピン・ケソン市では政府間会議に向け、アジア・太平洋NGOフォーラム（10月22日～24日）が45カ国から約700人が参加して開催された。

昨年は女性差別撤廃条約採択30周年であり、日本政府の第6次報告が審査され、多くの勧告が出された。

（情報提供：世界女性会議岡山連絡会 時實 達枝さん）



ウィズセンター情報コーナーでは北京会議に関する図書資料やその後の動きなどを展示しています。

### ●平成22年度 キャリアアップ講座（チャレンジ支援事業）

～もう一度働きたい「あなた」、まず一歩踏み出してみませんか～

お問い合わせ先：☎086-235-3307

応募資格：結婚・出産・育児・介護等でいったん仕事を中断し再就職を希望する女性で全期間出席できる方

内 容：○アビリティ編（4日間）：「働く前に知っておきたいワークライフセミナー」

●ビジネスマナー ●労働契約・社会保険・税金 ●応募書類の書き方 ●面接対策 ●求人状況 等

○ス キ ル 編（18日間）：エクセル検定3級合格を目指したパソコン講習

受講料：無料（教材費・検定受験料は実費負担） 定 員：28名（選考により決定） 受講期間：22日間（1日5時間）

申込方法：岡山・倉敷地区はウィズセンターに、津山地区は津山男女共同参画センター「さん・さん」にお越しください。

日 程

	申込受付期間	受講期間	会場
岡山地区	5月12日（水）～14日（金）	6月1日（火）～7月7日（水） 期間内の火～金曜日（22日間）	アビリティ編/ウィズセンター ス キ ル 編/岡山市内（会場未定）
	12月15日（水）～17日（金）	1月18日（火）～2月24日（木） 期間内の火～金曜日（22日間）	アビリティ編/ウィズセンター ス キ ル 編/岡山市内（会場未定）
津山地区	5月26日（水）～28日（金）	6月16日（水）～7月22日（木） 期間内の水～土曜日（22日間）	アビリティ編・スキル編/ 津山男女共同参画センター「さん・さん」
倉敷地区	9月 8日（水）～10日（金）	9月28日（火）～11月5日（金） 期間内の火～金曜日（22日間）	アビリティ編・スキル編/ 倉敷市男女共同参画推進センター 「ウィズアップくらしき」

### ウィズライブラリー

～新着の図書・DVDです～

図書



#### 『Q人生って?』

・よしもとばなな 著  
・幻冬社（2009年）

恋や仕事や子育て、人間関係に悩むすべての人に、著者が用意した31の答え。眠れない夜やどん底にいるとき、あなたの心をのびやかにし、明日を開く書下ろし人生論。

図書



#### 『怖いもの知らずの女たち』

・吉永みち子 著  
・山と溪谷社（2009年）

登山家の田部井淳子を中心にさまざまな職歴を持った団塊世代の女たちが「シャンソンのコンサートを開きたい!」という夢を実現させた。今までの縛りから解放され、ステージではじけ、輝く彼女たち。同世代の女性たちへ、元気の出る応援歌。

DVD



#### 『東南角部屋二階の女』

・日本  
・104分（2008年）

ひよんなことから、取り壊し寸前の古アパートに住むようになった若者3人。社会のどこにも属することなく、不安と焦りを抱えながら生きていく毎日の中で、人生の先輩たちとの出会いから、彼らが心の片隅に置いてきた大切なものに気づいていく。

DVD



#### 『ミュージカル 李香蘭』

・日本  
・139分（2008年）

日本と中国の戦乱の中で何も知らずに利用され、戦後は反逆者として法廷で裁かれた実在の歌姫「李香蘭」その流転の人生と昭和史を劇団四季が舞台化。戦争を体験した世代も知らない世代も見のミュージカル。

## 運営委員会から意見書が提出されました



左から運営委員長の池田武彦さん、副委員長の時實達枝さん、笹井ウィズセンター所長、小原県男女共同参画課長

ウィズセンター運営委員会はウィズセンターが開館10周年を迎えた21年度「今後のあり方」について協議を重ね、このほど意見書をまとめ笹井所長に提出しました。

### (池田委員長コメント)

10周年を迎えたウィズセンターが男女共同参画推進の拠点としてさらに大きな役割を果たしていくために、事業の見直しと人材の育成・活用、連携・協働の強化、情報発信機能の強化という面から意見書をまとめました。ぜひ、私たちの思いを生かして事業に取り組んでいただきたいと思います。

## 利用者からのメッセージ

ウィズセンター運営委員、センター情報誌編集委員としてかかわっていただいたお二人にメッセージをいただきました。



ほぎ お ひろ え  
萩尾 寛江さん  
(岡山市)

先日、情報誌のよりよい誌面づくりのため、編集会議を持ちました。世界や日本のニュース、身近なトピック、センターの催し案内なども入れ、講演会の内容に加えて、参加者の声など、多方面から多くの情報をお届けできるよう、センターの皆さんと力を合わせていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



やま もと けい こ  
山本 敬子さん  
(瀬戸内市)

私の考えるウィズセンターの魅力は ①駅に近く、便利が良い ②数多くの情報がある ③講座・イベントに気軽に参加できる ④様々な相談にのってもらえる、等々。これからも多くの人たちにしっかり利用してほしいと思います。

## ウィズセンター は こんなところ

**開館時間** 火～土曜日/9:30～20:00  
日曜日/9:30～17:00

**休館日** 月曜日・祝日・年末年始

**ホームページ**

### 情報提供

- 図書・ビデオの貸出
- 人材情報・各種団体の活動情報の提供
- 男女共同参画に関する資料の閲覧

### 各種講座

- 男女共同参画に関する各種講座の開催

### 相談

- 相談員による一般相談  
火～土(祝日を除く)9:30～17:00(受付は16:30まで)
- 特別相談(予約制)  
弁護士による法律相談 原則第2・4金曜日  
医師による心の相談 原則第1・3金曜日
- 専用相談電話 ☎086-235-3310

### 就業支援

- 就業に役立つ講座の実施
- 就業に関する情報の提供

### 交流

- 各種団体へ活動・交流の場と機会を提供

### 広報

- 情報誌の発行(年4回)
- メールマガジンの配信(毎月)



### 交通案内

- 徒歩/岡山駅前から約15分
- タクシー/岡山駅前から約5分
- 路線バス/岡山駅前から

※ウィズセンターへお越しの際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

- [岡電バス]津高方面・万成方面行「ごせんきょう跨線橋東」下車 徒歩約4分
- [中鉄バス]津高方面・一宮方面行「跨線橋東」下車 徒歩約4分
- [宇野バス]赤磐方面行「番町口」下車 徒歩約3分
- 天満屋バスセンターから
- [岡電バス]三野・妙善寺方面行「番町口」下車 徒歩約3分

センターへのご意見はご遠慮なくハガキ・FAX・Eメールまたはセンターの提案箱へ

### ウィズ春号 (vol.52)

2010年4月発行  
編集・発行/岡山県男女共同参画推進センター(ウィズセンター)  
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1  
きらめきプラザ(県総合福祉・ボランティア・NPO会館)6階  
TEL (086) 235-3307(代) FAX (086) 235-3306  
Eメール: danjo@pref.okayama.lg.jp